

第三十七回帝國議會 院 郵便法中改正法律案外三件

鐵道船舶郵便法中改正法律案
海底電信線保護萬國聯合條約則改正法律案

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正五年二月十八日午前十一時二十二分開議

出席委員左ノ如シ

石田 平吉君 戶井 嘉作君 平山 午介君
山田 正年君 室木 彌次郎君 今井 喜八君
佐藤榮右衛門君 中村 千代松君 牛田 唯一君
江藤 哲藏君 田中 省三君 林 平四郎君
平沼 亮三君 龍口 了信君 小西 和君
同月十四日委員川村惇君辭任ニ付其補闕トシテ同日議長ニ於テ佐藤榮右衛門君ヲ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

遞信大臣 箕浦 勝人君

出席政府委員左ノ如シ

遞信省參政官 木下謙次郎君

遞信省通信局長 田中 次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

遞信書記官 田邊 治通君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

郵便法中改正法律案

電信法中改正法律案

鐵道船舶郵便法中改正法律案

海底電信線保護萬國聯合條約則改正法律案

○委員長(田中省三君) 是カラ郵便法中改正法律案外三案ニ對スル委員會ヲ開キマス

○政府委員(田中次郎君) 遞信大臣並ニ參政官ハ今貴族院ノ本會議デ保險法案ノ質問ニナツテ居リマスカラ、後刻御出ニナラウト思ヒマスガ、取敢ヘズ私が出マシタ

○石田孝吉君 大體此際ニ郵便法外三案ヲ御提出ニナリマシタ 其理由ヲ政府委員カラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 大體本案ヲ提出サレマシタ際ニ、遞信大臣ヨリ御説明ニナツタ通りアリマスガ、尙モウ少し進シテ申上ゲマス、第一ニ郵便法ニ付テ申上ゲマス

ト、郵便法ハ明治三十三年ニ出來マシタ以來十六年モ經マシタ、其間郵便業務ヲ行ツテ行ク中ニ、事務ノ簡捷ヲ圖リ、事務ヲモウ少し輕便ニ取計ヒタイト云フ 感シテ有テマシテ實行致シマシタノガ數箇條ゴザイマス、第一ハ郵便取立金ノ取立テ後デハ、ソレヲ爲替金ト同一ニ扱フ方法ガナイノデ、取立金ト別ニ送達ノ方法デヤツテ居リマスガ、取立テ後デハ郵便ノ方法デヤル方ガ宜イ、一般爲替ト同一ノ方法ニ據ル方ガ取扱上

カラ言ツテモ總デノ點カラ大變簡便デアリマスカラ、爲替法ニ入レルコトニシタイト思ヒマス、是ガ一ツノ點デアリマス、ソレカラ第二ニ郵便ノ沒書ニナリマスノガ、所謂配達スルコトノ出來ナイ、ソレカラ差出人ニ返スコトモ出來ナイト云フ 郵便ガ大分アリマス、此中テ例ヘバ有價物ノ這入ッテ居ルヤウナ品物トカ、小包ト云フヤウナ物ハ、大概ハ間モナク取リニ出ルヤウナ人モアリマスガ、普通ノ郵便ナドノ差出人ノ宿所モ分ラヌモノニナルト、大變處分ニ困ツテ居リマス、ソレヲ今ハ公示シテ局ノ前ニ郵便受取人ノ名ヲ發信人ノ名ヲ書出シテ帳面ヲ下ラゲテ居リマスガ、ソレヲ下ラゲテモ取リニ出テ來ルヤウナモノハ殆ドアリマセヌ、寧ろ是ハ局ニ保管シテ置クコトニスレバソレデ十分デアルト考ヘマス、而モ保管ノ期間ヲ幾分短縮シテモ、實際上少シモ差支ナイヤウナ現狀デアリマスカラ、保管期間ヲ短縮シタイト云フ考デアリマス、ソレカラ郵便物ノ中ニ大分禁制品ノモノガアリマス、發火性ノ物トカ、爆發物トカ、風俗ヲ壞亂スベキ文書圖書、或ハ關稅ヲ課スベキ物品ヲ課稅ヲ逃レルヤウナ形テ外國カラ這入ッテ來ル郵便物ガ澤山アリマス、殊ニ近來外國人ガ普通郵便物ノ中ニ女持ノ金時計ヲ入レテ來ルノガアリマス、又或ハ書留デ這入ッテ來テ課稅ヲ免レルヤウナモノガ澤山アリマス、御承知ノ通り通常郵便物信書ハ、憲法ノ保障、刑法其他ノ郵便法等ノ關係ニ於テ、濫リニ信書ヲ開ク譯ニ參リマセヌ、サウ云フ疑ノアルモノニ付テハ、受取人立會ノ上デ開クコトニシタイノデアリマス、同時ニ受取人モ立會フコトガ出來ヌトカ萬已ムヲ得ザル時ハ、郵便局デ開クコトニシタイノデアリマス、是ガ一ノ點デアリマス、今日マデノ成績ニ依レバ、今申シマシタヤウナ種類ノモノデ外國カラ來ル郵便物ハ、何十萬圓ト云フ金ノ品物が這入ッテ來ルノデアリマスカラ、ドウシテモ其取締ハ嚴重ニシナケレバナナイ必要ガアリマスノデ、稅關アタリデ困ッテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、旁、以テ其精神ヲ酌ミマシテ、今日ハ發信人ニ返スコト外ハナイト云フコトニナツテ居ルト、殊ニ外國ヘマデ返サナケレバナラヌト云フコトハ甚ダ不便千萬ノ次第デアリマスカラ、受取人立會ハセル、立會ウコトガ出來ナイトカ、万已ムヲ得ザル時ハ郵便局デソレヲ開キ得ルコトニナツタ次第デアリマス、次ニ郵便切手類、葉書類等ノ偽造變造並ニ或ハ洗滌シテ——一旦使ッタモノヲ洗ッテ再ヒ使用シ得ルヤウナ狀態ニ改メタルノガ隨分近來多イデアリマス、殊ニ切手偽造變造等ニ就キマシテハ、舊刑法時代ノ法ニ基イテヤツテ居リマシタガ、舊刑法ガ其後新刑法ニ改マリ、又有價券ノ偽造ト變造ニ就テ特別ノ取扱規定ガ出來テ居ル、ソレト參酌シテ刑ノ權衡ヲ得ルヤウニスル積リデ偽造變造ニ就テ新刑法ニ伴フヤウニヤリマシタ、葉書類切手類ノ一旦使用シタモノヲ藥品等ヲ用テ洗フ、葉書ナドハ殆ド真正ノモノト見分ノ付カナイ迄ニ巧ク洗滌シタモノガアル、是ガ郵便局ナドニ持ッテ來ルト、局デハ隨分澤山取扱フシ、急ガシイカラ見分ガ困難ナ狀態デアルカラ、此取締ハ嚴重ニヤラナイト非常ニ弊害ヲ來ス、動モスルト今日ハ洗滌シタモノニ就テハ、變造デモナイ、偽造デモナイ、ヤハリ郵便局ニ出サヌ以上ハ再使用デナイト云フノデ、裁判所デ屢々無罪ニナル、斯ウ云フモノヲ澤山紙屑屋ナドガ買集メタモノヲ買取ッテ、再ヒ使ヒ得ル狀態ニアッテハ危險デアルカラ、相當取締ヲスル必要ヲ認

メタノアル、其點ニ於テ洗滌シテ者ト雖モ罰スルコト云フ取締ヲ設ケタイと思フ、其外郵便法ノ中テ文面ガ明白デナイ爲メニ、取扱上度々疑義ヲ生ジタ條文ガ間アリマス、此度ハ其疑ヲ生ズルヤウナ條項ヲ明瞭ニ改正スル必要ヲ感ジマシタノデ、條文ノ意義ヲ鮮明スルヤウニシタイノデアリマス、最後ニハ新刑法ガ出來マシテ刑罰規定ガ改マリマシタノト、昨年無線電信法ガ出來マシテ郵便法ト無線電信法ト類似ノ條項ガアリマスカラ、其無線電信法ノ精神ヲ受ケテ、刑罰等モ新刑法並ニ無線電信法ト權衡ヲ得ルヤウニ改正シタノガ主眼デアリマス、今一ツハ無線電信無線電話ヲ無線電信法ニ依ッテ認メマシタ結果、無料郵便ノ中ニサウ云フモノヲ入レナケレバナラス、或ハ國庫金ノ取扱恩給年金ノ支拂ニ就テモ、同ジク無料郵便ヲ認メナケレバナラスノデ挿入シタノデアリマス、郵便法ニ就テ改正シタ要項ハ細カク申上ゲルト右様ノ次第デアリマス、次ニ電信法ヲ申上ゲマス

○委員長(田中省三君) 一括致シマス、一案毎ニ致シマス、簡單デスカラ一括シテ説明シテ、質問モサウ云フコトニ 御異議ガナケレバ……

○政府委員(田中次郎君) ソレデハ電信法ヲ申上ゲマス、電信法モ御承知ノ通り三十三年ノ制定ニ係リマシテ、爾來十六年ヲ經マシタ、今日取扱上ニ就テ事務ノ簡捷ヲ致シタイノガ一ツ、是ハヤハリ送達不能ニ歸シタル電報ヲ公示手續ヲ從來ヤッテ居タノヲ 郵便ト同ジク送達出來ナイハ局前ニ宛名ヲ書イテ示シテ居リマシタガ、局前ニ示シタカラト言ッテ電報ノ配送ヲ願フテ來ル狀態ハ無イ、發信人ニ知ラシテヤッテ、發信人ノ方カラ宛所ヲ訂正シテ來テ送達スルノガ多ク、其訂正ニ依ッテ配達可能ニナッテ居ル狀態デアルカラ公示ノ手續ハ止メマシテ、電信局デ電報ヲ保管シテ置ク、其間ニ從來ノ通り發信人ニ不著デアル趣ヲ知ラシタル方法ニシタガ、事務ノ取扱上モ輕便デ、サウシテ不便ハ毛頭ナイ譯デアル、サウ云フコトニシタイト考ヘテ、手續ヲ簡捷ニシタイコトデ加ヘマシタ、第二ニハ無線電信法ガ先刻申シマシタ通り、昨年通過致シマシタ關係カラ、無料電報ノ中ニ無線電信無線電話ニ關スル事柄ハヤハリ這入ラナケレバナラヌコトニナリマシタノデ、無料電報ノ規定ヲ改正シマス、一方デハ新刑法並ニ無線電信法ノ刑罰ノ權衡ヲ得マスヤウニ、刑ノ規定其他ヲ改メ止ッテ居ル電信法中シマス、右様ノ三點ガ改正ノ要點デアル、大體ハ昨年ノ無線電信法ノ際ニ今日改正ヲ要求シ、又新刑法等ノ刑ノ關係ハ審議ヲ盡シマシテ、昨年改正サレテ居ルノデ、實ハ今日無線電信法ノ改正ヲ其儘承ケテ來テ居ルヤウナ譯デアリマス、續イテ申上ゲマスガ船舶郵便法中改正法律案ニ就テ申上ゲマスガ、鐵道船舶郵便法モ同ジク前二法ト同ジヤウニ、今日ハ既ニ二十六年經チマシテ、其間殊ニ近代ニナリマシテ輕便鐵道ガ非常ニ發達シテ參ッテ、輕便鐵道會社ノ數ガ殖エタノデアリマス、御承知ノ通り鐵道船舶郵便法ノ中ニハ輕便鐵道ニ直ニ鐵道船舶郵便法ヲ適用スル譯ニ參リマセヌノデ、命令ヲ以テ準用シ得ルコトニ輕便鐵道法ノ中ニ規定シテアリマス、所ガ輕便鐵道ハ一般普通鐵道ト違ッテ、距離モ短イシ、又送接シ運送スル旅客貨物等ノ關係、イロ／＼ノ關係カラ、一哩ノ賃銀ト云フモノガ實ハ一定シテアリマセヌ、ソレデ鐵道院デ輕便鐵道ハ一般ノ鐵道料金ヨリハ餘程高クナッテ居ル爲ニ、鐵道船舶郵便法ヲ輕便鐵道ニ準用シテ行クコトハ出來ナイ、輕便鐵道ノ方ノ料金ガ高イ爲ニ、此法律ヲ準用シテ行クコトハ事實行ハレ

ナイ狀態ニナッテ居ル、今日ハ致方ガナイ爲ニ、箇々ノ鐵道ト郵便運送ニ就テハ一々協定シテヤッテ居ル、一々協定シテヤッテ居リマシテモ、別ニ大シタ差支アリマセヌケレドモ、ヤハリ早晚輕便鐵道モ數モ殖エテ參リマスコトデアリマス、此法律ヲ改正シテ輕便鐵道ニモ適用シ得ルヤウニシタイト云フ、實ハ考ヲ有ッテ居リマシタ、ソコデ本法ノ改正ニハ主トシテ輕便鐵道ニ本法ヲ適用スルヤウニヤリタイ考ヲ有チマシテ、第一條輕便鐵道法ニ依ル鐵道ト云フコトヲ入レマシタノト、第十條ニ料金ノ規定ガ載テ居リマス、三百立方尺迄一哩當リ一錢八厘、五百立方尺マデ一哩三錢五厘、七百立方尺迄一哩五錢六厘ト云フヤウナ割合デ、金高ハ此ニ出テ居リマス、是ハ恰度三百立方尺マデ一哩一錢八厘ト云フコトハ、其當時ニ於ケル三等旅客一人ノ一哩賃銀ガ先ヅ一錢八厘デアッタ爲ニ、斯ウ云フコトニ極マッテ居ルヤウナ沿革デアリマス、今日デハ先ヅ一哩三等旅客賃銀ガ二錢ト云フ狀態デアリマス、之ヲ此儘一哩一錢八厘トカ、二錢五厘トカ云フコトデヤッテ置キマスノハ、輕便鐵道ノ方モ今日大概一哩賃金四錢位ニナッテ居ルノニ對シテ當徴ラヌ、寧ロ金高デ示シマスヨリハ一哩賃銀ノ何割トカ云フコトデ極メテ行ク方ガ大變之ヲ適用シマスル上ニ於テ、各會社別ニシテ各料金別ニシテモ裕取リガアッデ、實際法ノ精神ハ現行法ノ精神ヲ其儘ニ動サナイデ以テ行クヤウニスルニハ、ヤハリ一哩ニ付十割以內、五百立方尺ニ付二十割、七百立方尺ニ付一哩每ニ三十割、千立方尺ハ五十割ト云フコトニシマスレバ、丁度一哩賃金ノ料金ノ賃率ヲ極メマシテ、旅客賃金ガ例ヘバ二錢ハソノ十割デアリマスカラ、二錢ハ二錢、四錢ハ四錢ト云フコトニナルノデ、一錢八厘ノ場合ハ一錢八厘、三錢五厘ノ場合ハ三錢五厘ト云フ風ナ割合ニナッテ來マス、ソレデ此度ハ金高ノ何錢何厘ト云フコトデ極メマスヨリハ、何割一哩ノ旅客賃金ガ幾ラデアルトスレバ其何割ト云フコトデ極メマス方ガ現行法ノ精神ニモ副ヒ、サウシテ又輕便鐵道ニ適用スルニ於テモ、何等ノ差支ガナイト云フ考ヲ以テ、斯ウ云フ改正法ヲ出シタノデアリマス、此鐵道船舶法ニ付テハ大體右ノ二點ニナリマス、其外法人罰ノ點ニ付テ變更ヲ致シマシタ位デ、大體刑罰規定ハ刑法並ニ郵便法其他トノ權衡ヲ得ルヤウニ致シマシタ、最後ニ申上ゲタイノハ、海底電信線保護萬國聯合條約則改正法律案、是ハ明治三十五年ニ制定シタ法律案アッデ、實ハ本ハ海底電信線萬國保護條約ト云ノガ電信電話條約國ノ間ニ出來テ居ッテ、其保護條約ニ基ヒテ立法府ニ此保護條約ニ適切ナル立法ヲシテ貰フヤウニ建議スルコト云フヤウナコトノ照會ニナッテ居リマス、其精神ニ基イテ三十五年ニ其條約ノ精神ヲ承ケタル罰則ト云フ法律ガ出來マシタ、トコロガ此罰則ハ主トシテ海底電信線ノ日本並ニ日本ノ殖民地等ノ海底電信線ハ國有デアルト一私人ノ會社ト問ハズ、總テ條約ノ趣旨ニ基イテ保護シテ通信ノ障害ノナイヤウニシテ行カウト云フ精神デ出來テ居リマス、丁度是ガ電信法ヲ改正致シマシタ關係カラ、罰則ノ量定ノ如キハ電信法ト一致サセヌト如何ニモ權衡ヲ得ナイ譯デアリマスカラ、大體ハ電信法ノ改正ガ出來マスト同時ニ、其方ノ改正ノ必要ヲ認メテ、刑ノ量定ヲ變ヘタ次第デアリマス、少シ文句ガ多少變ッテ居リマスガ、是ハ條約ニ極ッテ居リマストコロノ文言ヲ唯入レテ、從來ノ趣旨ヲ明瞭ニシタ止マッテ居リマス、大體刑罰ヲ電信法ト權衡ヲ得ルヤウニシタイト云フコトデアリマス、大略右申上ゲタ次第デゴザイマス尙細カイ點ハ御質問ニ依ッテ申上ゲマス

○室木彌次郎君 此改正案ニ依ルト、法人ノ犯罪ニ付テ其法人ノ代表者ヲ罰スルト云フコトニナッテ居リマスガ、刑罰法規ノ上ニ於テ、法人ノ犯罪ニ付テ法人其モノヲ罰スルカ、代理者ヲ罰スルカト云フコトハヤカマシイ問題ニナッテ居リマスガ、政府ニ於テハドウ云フ御考デ法人ノ代表者ヲ罰スルト云フコトニナツタカ、大體ノ……

○政府委員(田中次郎君) 此法人處罰ニ付テハ唯今ノ御説ノ通りデアリマシテ、大分法律家ノ間ニモ是ニ付テハ從來トモ異論ガアツタヤウニ承知シテ居リマス、之ヲ改メマシタ沿革ハ、大體無線電信法ヲ纂キニ制定致シマス際ニ、法人ヲ罰シナイ主義デ既ニ法人罰ハ入レテ居リマセヌ、行爲者罰ニ立法ノ趣旨ヲ定メテ居リマス、其精神ヲ今度ハ改正ノ際ニモ承ケマシテ、鐵道船舶郵便法ニ付テハ法人ヲ罰シナイ精神ニシマシタガ、唯今御説ノヤウナ問題ノトコロデアリマス規定ハ、法人ノ代表者代理人又ハ從業者法人ノ事務ヲ實際執ツラ居ル人が犯罪行爲ニ該當スルコトヲシタナラバ、其實際ノ行爲者ヲ罰スルト云フコトノ精神デアリマス、是ハ司法省其他法制局ニ於テモ、法人罰ノ實際ノ效果如何ト云フコトニ付テハ、從來ノ成績上疑フ有テ居リマス、或ハ是ハ財罰ニ關スル側ニ基キテ、主トシテ財産上ノ處罰スレバ足リルデアリマスカラ、多クハ是デ法人ヲ罰シテモ差支ナイガ、此電信法ニ付テ鐵道郵便法ニ付テ斯ウ云フ利益ニ關スル事柄デアリマシテ、利益トカ利得トカ云フ側ニ主眼ヲ置カナイ、此公益法ノ規定ノ上ニ於テハ、法人其モノヲ罰スルト云フコトハ——行爲者其者ノ實際働イタ責任ヲ法人ニ嫁シテシマツテ、サウシテ實際ノ行爲者ト云フモノハ陰ニ隠レテシマツテ免レルト云フコトノ形ニナルノデ、是ハ甚ダ公益ノ方ニ規定セントスル事項ヲ遂行スル上ニ於テハ、十分ニ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、狀態デアリマスカラ、ヤハリ此法人ノ事務ニ從事シテ居ルコロノ代表者、或ハ代理人又ハ從業者自ラ犯罪行爲ニ該當スルコトヲシタナラバ、ツマリ其行爲ヲ爲シタル者ヲ直ニ罰スルト云フコトガ本來ノ規定ノ精神ニモ副ヒ、又郵便電信ノ業務ヲ遂行スル上ニ於テモ、的確ニ仕事ヲスルニ大變都合ガ宜イト云フ考カラ、イロ／＼研究シタ結果、曩ノ無線電信法ノ時カラサウ云フ方針デ實ハ決定シタノデアリマス

○室木彌次郎君 尙引續イテ四五點質問シタイト思ヒマス、此郵便法ノ第四十一條ニ依ルト「第二條ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役及千圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマスガ、今日刑罰ニ於テモ其他ノ特別法ニ於テモ選擇刑ニナッテ居ル、或ハ懲役、罰金ナラ罰金ト云フコトニナッテ居リマシテ、舊刑法ハ附加刑ノヤウナモノガ廢止ニナッテ居リマス、是ハ刑法ニ於テ懲罰ニ關スルコロニ體刑ト罰金刑ヲ併科スルト云フコトニナッテ居リマスガ、其他餘リ體刑ト罰金刑ヲ併科スルト云フ規定ヲ見ナイノデアリマス、特ニ此郵便法ニ於テハ——他ノ條項ニ於テハ附加刑ヲ除イタルニ拘ラズ、四十一條ニ限リテ體刑ト罰金刑ヲ併科スルト云フコトニナッテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 唯今ノ御尋ハ第二條ニ違反シタル場合ヲ規定シタノデアリマシテ、第二條ハ御承知ノ通り郵便專掌ヲ害スル、所謂國家ガ郵便業務ヲ國家自ラ專掌シテヤラナケレバナラヌ、此郵便法ハ國家專掌事務ニ規定シテ置カナケレバナラヌ、其國家專掌ヲ冒シテヤルト云フノデアリマシテ、御話ノヤウニ二年ノ自由刑ヲ科スル上ニ尙千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコトハ、外ノ處分ニ比シテ重クハナイカト云フコトハ御尤デアリマスガ、專掌權ノ侵害ト云フコトハ、外ノ方ニアリマス餘リ大シタ類例ハアリマセ

ヌ、葉煙草專賣デアリマスガ、葉煙草專賣ハ寧ロ收益上カラ來テ居ル、公益ノ方カラ來テ居ル譯デナイ、チヨット類例ガナイ位ノ國家事業ニナッテ居リマスノデアリマスカラ、自由刑ヲ課シタバカリデハイカナイ、ヤハリ一面ニ政府ノ財政ノ收益ノ上ニ於テモ非常ナ累ヲ及ボス憂ガアル、近來交通機關ガ發達シテ、或ル輕便ナル快速ノ運輸機關ガ行ハレルコトニナリマス、尙更斯ウ云フ專業ヲ以テ一面ニ分リ惡クイ又損害ヲ及ボス程度ノ大キイト云フ惧ノアル爲ニ、一面ニハ自由刑ヲ科スルト同時ニ、國家ノ財政上ニ累ヲ及ボスト云フ上カラ、千圓以下ノ罰金ニ處シタイ、固ヨリ少々ナ非常ニ輕イ僅ニ一通ノ手紙ヲ人ニ頼マレテ持ッテ往ツタト云フヤウナコトニナリマスレバ、情狀ハ大ニ酌量スベキモノデアラウト思ヒマスシテ、下ノ限度ヲ極メマセヌデ、極ク輕イ自由刑ノ罰金デ濟ムヤウ、以下最低額マデ往キ得ルヤウト云フノデアリマス、大體ノ精神ハ唯今申スヤウニ專掌ノ主義ヲ十分確保スルノガ主眼ニナッテ居リマス、之ハ外ニ類例ガアルマイト思ヒマス

○室木彌次郎君 ヲレカラ四十三條ニ何人ト雖モ第三條ノ場合ニ於テ云々トアル、此何人ト雖モト云フ意味ガ判然セヌ

○政府委員(田中次郎君) 第三條ノ場合ハ運送業者ノ場合デアット思ヒマス、何人ト雖モト云フ意味ハ實ハサウ重イ意味デアリマセヌ、法人デアット場合ト雖モ、從業者其他一切ヲ含ム積リデ書イタノデアリマス

○室木彌次郎君 ヲレナラバ第二條ノ運送業者者トアルヲ、改正法デハ運送業者者及其代表者云々ト改正ニナツタデスカラ、此四十二條ノ何人ト雖モト云フノ法人代表者トカ從業者トカヲ含ムトスルナラバ、第三條ヲ改正シテ第二條同様ノ運送業者又ハ其代表者云々ト改正スルガ至當ト思ヒマスガ、第二條ヲ改正シテ第二條ヲ改正セラレナカッタ趣旨ガ徹底致シマセヌ

○政府委員(田中次郎君) 第三條ハ御承知ノ通り運送業者者ハ郵便官吏ノ依頼ノアツタ時ニハ拒絕スルコトガ出來ナイ、運送ハドウシテモヤラナケレバナラヌ、ツレガ一個人ノ場合ハ議論ハナイガ、法人デアル場合ニ、法人ノ代表者ガ拒ムコトモアラウシ、或ハ從業者ガ拒ム場合ガアツタト思フ、實ハ法人ツレ自身ガ義務ガアルノデ、其下ニ從事シテ居ルモノハ義務ガナイト云フ感シモ起リマスガ、所デ其業務ニ從事シテ居ル者ノ犯罪行爲者ヲ罪スル精神カラ、何人ト雖モ拒絕ト云フ行爲ヲ爲シタル者ヲ罰スルノデアル、ツレデソコニ第三條ノ場合ニ於テトイキナリ書イテ差支アリマセヌガ、何人ト雖モト書キマシタノハ、法人デアル場合ニ、誰ガヤルニモ第三條ニ該當スルコトヲ爲セバ四十二條ノ處罰ヲ受ケル精神デアリマス

○室木彌次郎君 イヤ第三條ニモヤハリ、運送業者者又ハ代表者又ハ代理人ト云フヤウナ風ノ規定ヲ書イタラドウカト云フ御尋デ、何人ト雖モト云フノハ今ノ說明ニ依ルト第三條ニ違背シタ場合ニハ何人ト雖モト云フコトニナリマスカラ、第三條ニモ從業者トカ代表者トカ云フモノガ、ヤハリ郵便物ノ運送ヲ拒ムコトハ出來ナイト云フ規定ヲ設ケテ置カナケレバ、第四十二條ハ從テ何人ト雖モト云フ規定ガ出テ來ナイヤウニ思フ

○政府委員(田中次郎君) 說明委員カラ……

○遞信書記官田邊通君 チヨット私カラ申シマス、第三條ニ代表者代理人ヲナゼ入レヌカト云フ御質問デアルガ、第三條ハ運送業者者ダケニ斯ウ云フ義務ヲ負ハセタイト

云フノデアリマスカラソレハ入レマセヌ、四十二條ノ方へ來テ第三條ノ場合ニ運送營業者ガ法人デアッテ、法人ガ義務ヲ負フ場合、其法人ノ使用人デ責任アル者ガ拒ム、又ハ運送ガ出來ナイト云フコトニナツタ時ニ、第三條ノ場合ニ法人ガケニ義務ヲ負ハセタイ、其法人ガ義務ヲ負ジテ運送スベキ場合ニ於テ、今度ハ四十二條へ來テ現實ニヤラナカツタ者ガアツタナラバソレハ處罰スル、例へバ或鐵道法人ガアル、某鐵道法人ニ郵便ヲ運送シロスウ云ハレタ場合ニ、法人ハ拒ムコトガ出來ヌ、法人ハ承知シテモ、例へバ某驛へ往ッテ驛長ニ列車ヲ出セト云フ場合ニ、驛長ガ拒ムコトガアリ得ルカラ、其場合ニ驛長ガ拒メバ第三條ニ反スル、現實ノ場合ニ於テ驛長ガ拒ム、或ハ持ッテ往カヌト云フ場合ニ、第三條ニ依テ法人ノ使用人ハ無責任ダト言ハサヌ、之ヲ拒ム時ニハ罰スルト云フヤウニシタイ積リデアリマス

○室木彌次郎君 第五十三條第二項ニ郵便事務ニ從事スル者重大ナル過失ニ因リ郵便物ヲ失ヒタルトキハ云々トアル、サウシテ鐵道船舶郵便法ノ改正案ノ第十七條ニ依レバ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ガ其取扱中ニ係ル郵便物ヲ過失ニ因リ亡失毀損トリマシテ、一方ハ重大ナル過失ノアツタトキニハ斯ウ云フスル、一方ニハ唯普通ノ過失ニ因ッテ、斯ウ云フシタトキニハ嚴罰ニ處スルト云フ風ニナツテ居リマシテ、此間ノ權衡ガ取レナイヤウニ思フデアリマスガ、ドウ云フ御趣意デ斯ウ云フコトニナツタデアリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 御尤ノ御話デアリマスガ、五十三條ハ郵便物ノ個々ノ取扱ニ付キマシテ重大ナル過失ガアツテ郵便物ヲ失フ、或ハ配達人ガ失フト云フ場合ニ、殆ド故意ニシタヤウナ過失デアツタ場合ニハ、無論罰スベキ必要ヲ認メテ居リマスガ、サウデナイ偶々ノ過失ヲ忘失スルト云フヤウナコトガ有リ得ナイトモ限ラヌノデ、鄭重ニヤルコトニナツテ居リマスガ、多數ヲ扱フコトデモアリマスシ、刑罰ヲ以テスルノハ酷ニ失スルト、行政上ノ取締デ十分ニヤリ得ルモノト考ヘタデアリマス、鐵道船舶法ニ依リマス、輸送中ニ係ル郵便物ハ、大概何十トカ何百トカ云フモノヲ一纏ニシテ袋ニ入ッタモノヲ運送シテ居リマスノガ、個々ニ配達シテ居リマスノトハ大變趣ヲ異ニシテ居リマスシ、取扱上ニ於キマシテモ鄭重ニヤツテ扱ハナケレバ多數ノモノニ非常ナ累ヲ及ボスノデ、大變其性質ガ違ヒマスノデ、從來ノ立法ノ趣旨ガ極メテ鄭重ニ扱ハセルト云フ趣旨カラ斯ウナツテ居リマスノデ、今度ノ改正モ其趣旨ハヤハリ變ラヌデアリマス

○室木彌次郎君 現行法ニモアルデアリマスガ、有價物云々ト云フ規定ガアリマスガ、有價物無價物ト云フモノ、區別ハドウ云フ所ニ標準ヲ置イテ居ルデアリマスガ、隨分裁判上問題ニナラウト思ヒマスガ……

○遞信書記官田邊治通君 現在ノヤリ方普通ノ觀念ハ有價物ト云フコトニナツテ居リマス、併シ裁判所アタリノ判例ハ、或ル場合ニハ郵便端書ト雖モ、端書ノ物質ト中ノ文書ト併シテ有價物ト見做スト云フコトモアリマスガ、此場合ニハ普通ノ常識ヲ判斷ニナツテ居リマスノデ、例へバ手紙ガ入ッテ居リマシテモ、其中ノ手紙ヲ屑屋へ賣レハ一厘カ二厘ノ價ガアリマシテモ、ソレハ有價物ニ入レテ居リマセヌ

○室木彌次郎君 五十五條ノ末項ニ行キマシテ、其用ニ供シタル物件ハ之ヲ沒收ストアリマシテ、犯罪供用ノ物件ハ總テ沒收スルト云フコトニナツテ居リマス、サウスルト刑法ノ十九條ノ犯罪供用ノ物件ハ沒收スルトカ出來ルトナツテ居ッテ、而モ其沒收ノ出來ルノハ

犯人ノ所有デナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、サウスルト刑法ノ立法ノ趣旨ト反シテ、特ニ犯人ノ所有デナクテモ犯罪供用ノ物件ハ總テ沒收シテシマウト云フ風ニ改正ニナルト云フ趣旨ガ分リマセヌガ、ドウ云フ趣旨カラ斯ウ云フ重イ制裁ヲ加ヘタノデアリマスガ

○遞信書記官田邊治通君 實ハ端書ヲ偽造スルトカ、切手ヲ偽造スルトカ云フ、用ニ供ヘタル物件ハ、何人ノ所有ヲ問ハズ殘シテ置クコトハ宜シクナイカラ、沒收シテシマハナイト偽造變造其他ノコトヲ防壓スルニ十分デアルカラ、是非取リタイト云フノデアリマシタノデ、沒收スルト云フコトヲ得ト云フコトニ致レマス、是ハ私ノデアリマセヌ、誰ツレニ借リマシタト云フコトニナツテ、沒收スルトカ出來ヌト、又ソレニ依テヤルコトガアリハセヌカト云フコトカラ、ソレヲ防止スル爲ニヤリマシタデアリマス

○室木彌次郎君 此五十五條ノ三ノ規定ハ、ドウモ刑法ノ規定ト矛盾スルト云ナルノデ、今ノ方ガ法文ノ體裁カラ見テ適當デアルト思ヒマスガ、如何デアリマスガ

○遞信書記官田邊治通君 此五十五條ノ二ハ今ノ沒收處分デアリマス、犯人ガ死シタ場合ニ、犯人ガ無イ場合ニハ、主刑ガアリマセヌカラ沒收ガ出來ナイ、併シ偽造シテ出來タ郵便切手等ハ、尙是デ官沒シテシマヒタイト云フノデア出來タデアリマス

○平山午介君 私モゾット引續イテ承リタイ、郵便法ノ方カラ伺ヒマスガ、第十條ノ改正ニ「取立金ハ拂渡其ノ他ノ處分ニ關シテハ之ヲ郵便爲替金トシテ郵便爲替法ヲ適用ス」ト云フコトデアリマスガ、是ハ限界ハ何處カラ行クデアリマセウカ、實際ニ付テ……

○政府委員(田中次郎君) 取立デマスマデハ郵便取立金ノ方法ニ依テヤリマシテ、取立テタ其時カラ爲替ノ方法ニ依ラセルトデアリマス

○平山午介君 十五條ニ付テ承リタイ、今度改正ニナツテ公示ヲシナイト云フコトニ爲サル譯デスカ、今マデノ公示ノ形式ト云フモノハドウ云フ風ニシテオイデナリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 公示ノ形式ハ宛名ヲ書イテ實ハ帳面見タイナモノニ列記シテ、其帳面ヲ郵便局ノ前ノ揭示板ノ處ニ下ッテ置クノデ、大分多數ノモノガアルノデスカラ、一々貼出ス譯ニモ行カヌデアリマスガ、ナカノソレガ實ハ效果ヲ奏セナイノデス

○平山午介君 ソレハ場所デモ極ッデアツタデアリマセウカ、一般ノ郵便局ニヤツテオイデニナツタデアリマスガ

○遞信書記官田邊治通君 從來ハ斯ウ云フ風ノヤリ方ニナツテ居リマス、例へバ甲ノ局へ引受ケマシテ乙ノ局へ行ッタ郵便物が、乙ノ局デ貼出スト云フコトハ出來マセヌシ、尙乙ノ局カラ甲ノ局へ返シマシテ、甲ノ局カラ差出人ニ返スコトノ出來ナイ郵便物ヲ揭示シマス、ソレハ局デ揭示致シマスノハ、事ガ細クナリマスガ、一二等局ハ通常郵便物ハ自分ノ局デアリマス、有價物ニナレバ監督局へ送ル、三等局ハ有價物無價物ニ拘ラズ全部總メマシテ監督局へ送ル、初メテ監督局デ郵便法ニ據ッテ開封シテ見テ、中ニ宛名ガアツテ其處へ返セルトカ、或ハ中ノ文句ニ依ッテハ誰某ノ出シタモノデアルト云フコトガ分リマスノハ、ソレハ返シマス、開封シテモ分ラヌヤツハ監督局ノ局前ニ揭示致シマス、有價物ハ斯ウ云フ名宛デ誰某ノ出シタモノデアアル、普通ノ郵便物ハ葉書何枚ト云フ風ニ局前ニ揭示致シマス外ニ官報ニ出シテ居リマス、例へバ北海道へ出シマシテ熊本ノ遞信

局へ揭示サル、ト云フコトハ手数が食ヒマスガ、實効ガアリマセヌノデ、監督局ノ外ニスルト云フコトニ改メタイト云フ趣意デアリマス

○平山午介君 ソレハ最近一箇年ノ通數ハドレ位アリマスカ

○遞信書記官田邊治通君 ナカノ多ウゴザイマス、最近ノヤツハ大正三年が二十四万五千六百四十八、是ハ通常郵便ト小包ト合セテデアリマス

○平山午介君 ソレハ引受數ノ何分位ニ當リマセウカ

○遞信書記官田邊治通君 引受數一萬通ニ對シテ一、三五ニナリマス、大正三年ノ引受數が十八億二千五百五十三万二千二百五十六、ソレニ對シテ二十四万五千六百四十八

○平山午介君 スウ云フ御改正ニナル結果トシテ、人員ノ經濟ニドレ程ノ影響ガアリマスカ

○遞信書記官田邊治通君 是ハ人員經濟カラ分ケテ見マス、何人減ルト云フ程ニハ實ハナリマセヌガ、御承知ノ通り隨分各種ノ事業ガ増シテ居リマシテ、割合ニ定員ト云フモノガ増シテ居リマセヌノデ、實ハ斯ウ云フコトヲ完全ニスルニハ餘程骨ガ折レマスノデ、幾分デモ斯ウ云フ事業ヲ節約致シマシテ、餘裕ヲ造リタイト云フ考デアリマス、斯ウシマステメニ全國通シテ一人ナリ二人ナリ浮クト云フコトハアリマセヌ、各局ガ困リテ居リマスノヲ幾分緩和シタイト云フ考デアリマシテ、是ハ人員ニ算出シタナラバ何人ニナルト云フコトハ調ベマセヌ、又ソレ程ニナリハスマイカト思ヒマス

○平山午介君 尙ホ一言伺ヒタイ、三箇月後ニ交付ノ申立ヲ爲シマシテ數ハ分ッテ居リマセウカ、ドレ位ガ此改正ニ依ッテ無クナルカト云フコトガ

○遞信書記官田邊治通君 チョット申上ゲマスガ、大正三年ノガ出テ居リマス、公示シマシテ一箇月以内ニ取リニ來マシテ數ガ總計一千一通ノ中デ九百十四、二箇月以内ガ六十三、三箇月以内ガ十八、四箇月ト云フノガアリマス、五六ハアリマセヌ、總數ニ對シテ割合ヲ致シマスト九分一厘ガ一箇月以内デ、六厘ガ二箇月以内デ、二厘ガ三箇月以内、四箇月以内ハ「ゼロ」ニナッテ居リマス

○平山午介君 其次ニ今度爲替法ニ取立ガ行クニ付テ取立金ノ方ハ此處カラ削除セラル、コトニナル譯デアリマスガ、其交付ノ出來ナカッタ拂渡ノ出來ナカッタ取立金ト云フモノハ、爲替ノ方ハ何カ御改正ニナッテ法律デモ御提出ニナリマスカ

○遞信書記官田邊治通君 別ニ致シマセヌ

○平山午介君 ソレデハ爲替法ノドノ條項ニ據テヤルノデアリマスカ——郵便ニ依リ取立金ハ公示ノ日ヨリ一箇年間云々ト云フ規定ガアリマス、之ガ削除ニナレバ此取立金ハ爲替法ニ據ルト云フデアリマスカラ、爲替法ニ……

○遞信書記官田邊治通君 三年ノ沒收ニナリマシタ、一年延ビマシタ

○平山午介君 ソレハ非常ニオカシイト思ヒマス、アレハドウデアルカト云ヘバ爲替ノ方ハ爲替ノ振出人ト拂渡人ガアル、是ハヤラウト思ッテモヤルコトガ出來ナイ、之ヲ同一ノ年限迄留置クト云フコトハオカシイト思ヒマス、官署ガ正當ナル義務ヲ履行セントシテ、此方カラ働キカケテモ働ノ出來ヌモノデアリマス、二年ノ猶豫ヲ置イタニ拘ラズ之ヲ一年ニ短縮スル、一方ハ二年ノヤツヲ三年ニ延バス、サウ云フ必要ハナイト思ヒマスガ、是ニ

對シテドウ云フ御考デアリマスカ

○遞信書記官田邊治通君 申上ゲマスガ、今ノ取立金ヲ爲替トシテ全然爲替ニシテシマウト云フコトニ致シマシタル理由ハ、先程政府委員カラ御説明申上ゲマシタ特殊ノ便利ガアリマスノデ、御承知ノ通り現在ノヤリ方ハ取立金ト爲替トマルテ別デアリマスカラ、全國四千有餘ノ郵便局ガ、毎日取立金ノ計算ト爲替ノ計算ト別々ニ致シマシテ二口ニ致ス、隨テ手數モ掛ル、管理局ヲ經テ出納ノ方ニ行ク場合ニ、隨分出納ガ面倒デアルト云フノデス、即チ郵便取立終了ノ郵便局ガ爲替ノ取立局ニナッテ、受取人ナリ爲替ヲ組ムカラハ全然爲替ニナリマスガ、隨テ爲替ノ扱ヲ受ケマスト全然爲替ニナッテシマフカラ、ツマリ郵便取立ノ終了スルマデガ郵便デアッテ取立後ハ爲替デアル、全然爲替ニナルノデ自然ニ二年ト云フ時ヲ置キマスガ、或ハ一般ニ二年ニシテモ宜イト云フ議論ハアリマセウカ、此場合三年ニナルト云フコトハ各郵便局ガ出納日報ヲ作ル場合ニ手數ガ掛ル、是ハ明ニ爲替ニシタ方ガ便利デアルト云フコトハ全然爲替ニシテシマフ、隨テ三年ニナル、斯ウ云フデアリマシテ、ヤハリ手數ハ省カレルト云フ見込デアリマス

○平山午介君 私ハ其點ハ至極御同感デ、最モ進歩シタ御改正デアルコトニ敬服致シタノデアリマスガ、併シ其御説明デハ私ノ質問ニハ御答ヘニナッテ居ラス、是ハ私ハ既ニ貴族院ヲ通過シテ居ルモノデアリマスカラ、別ニ改正シテ戴キタイト論ジハシマセヌガ、將來改正ヲナサランコトヲ希望シテ置キマス

○委員長(田中省二君) チョット御諮リ致シマスガ、十二時ヲ過ギマシタカラ、質問ガマダ澤山アレハ午後ニ引續イテヤリタイト思ヒマス、如何デスカ

○平山午介君 私ハマダアリマスカラ午後ニ繼續ヲ願ヒマス

○委員長(田中省二君) ソレデハ午後ニ繼續致スコトニシマシテ、一時休憩致シマス
午後零時二十三分休憩

午後一時五十九分開會

○委員長(田中省二君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ開會致シマス、平山サンノ午前ノ續ヲ願ヒマス

○平山午介君 第十六條デアリマスガ、郵便物ノ開示ヲ求メラレタト云フ人數ハ最近ドノ位アリマセウカ

○遞信書記官田邊治通君 今マデハ統計ヲ取ッテ居リマセヌ、實ハ在來窓口ヘ持ッテ來タ場合ニチョット疑ハシケレバ開ケテ見ル、惡ケレバ扱ヒマセヌカラ統計ハ擧ガッテ來マセヌ

○平山午介君 ヤハリ十六條デアリマスガ、第十六條ガ改正ニナリマシテ差出人受取人ニ開示ヲ求ムル、此開示ヲ求ムル手續ト云フモノハドウ云フ風ニナリマスカ、例ヘバ中繼ノ局デ發見シタ場合ニ於ケル手續、ソレカラ引受ケテシマッタ後ニ引受局デ發見シタ場合、ソレ等ノ場合ニ於テ開示ヲ求ムル際ニ、ドウ云フ風ノ方法デ之ヲ求ムルコトニナサルノデアリマセウカ、是ガ一箇條、ソレカラ主務大臣ノ指定シタル郵便官署ニ於テ其郵便物ヲ開披スルコトヲ得トアリマスガ、此指定スル郵便官署ハドウ云フ所ガ指定ニナルノデアリマセウカ、是ハ指定セラル、局ノ關係ニ於テハ、郵便關係人ニ至大ノ迷惑ヲ及

ボスコトニナリハセヌカト云フコトヲ恐レルノデアリマスガ、之ニ付テ詳細ニ承ハリタイト思ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 御話ノヤウニ引受ノ後發見シテ開示ヲ求メル場合ト、配達局ニ發見セラレテ開示ヲ求メル場合アリマスガ、引受ノ後ハ差出人ガ其所ニ居テ直ニヤル場合ニアリマセヌカラ、出來得マスレバ差出人ニ來テ貫テ局ヲ立會ノ上テ開ケルコトニナリマス、又差出人ヲ呼シテ出頭スルコトガ出來ヌ場合ナラバ、監視人ヲシテ其宅ニ就テ差出人ト立會ノ上テ開示スルコトニシタイデアリマス、配達局デアル場合ニハ受取人ノ方ヲ出局セシメテ、局ヲ開示スルコトニシタイト思ヒマス、ソレモ出來ヌ場合ハ、監視人ヲシテ受取人ノ所ニ就テ、開示スルヤウニシタイ、又途中テ開示ヲ必要トスル場合モアリマセウ、是ハ兩方トモ呼ブコトガ出來ヌト云フ萬已ムラ得ザルトキハ、指定シタル郵便官署ニ於テ開示ケレバナラヌト思ヒマス、指定シタル郵便官署ハ、唯今ノ腹案デハ監督局ニヤラセル積リデアリマスガ、必要ノ場合ハ一等局又ハ二等局ニヤラセルコトニナラウト思ヒマス、或ハ三等局ニヤラセルヤウナコトハ、御話ノヤウニ一面ニハ便利ノ區域ヲ擴ゲルヤウデアリマスガ、取締ノ上カラ餘程慎重ニ致シマセヌケレバナリマセヌデ、萬已ムラ得ズ三等局デアルコト云フトキハ、臨時其時ヲ限ッテ許スコトガアルカモ知レマセヌガ、指定スルコト云フ考ハ實ハ持ッテ居リマセヌ、大體監督局ニヤラセル積リデアリマス

○平山午介君 尙序デナガラ伺ッテ置キマスガ、若シ途中ノ局ニ於テ斯様ナ郵便物ヲ發見シタル場合ノ實例ガアリマセヌレバ、ドウ云フヤウニシテヤルカ、總テ違犯ノ品物デアリマスカラ、中ニハ危險物モアリマセウ、又危險ナラザルモノデモ、他ノ郵便物ヲ害スルモノモアラウト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テノ取扱ハドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 遞送途中デサウ云フ場合ガアリマス、殊ニ發火性ノ物トカ爆發物ト云フヤウナモノニナリマセヌレバ、一刻モ其儘ニシテ置クコトガ出來マセヌカラ、郵便局デ處分シ得ル譯ニナリマセヌカラ、ヤハリ警察署アタリニ引渡シテ處分シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フモノデナク、或ハ風俗壞亂ト云フヤウナモノハ、必ズ直ニ途中デ始末ヲシナケレバナラヌト云フモノデモナケレバ、ヤハリ相當ニ監督局ニ送りマシテ、其所デ適當ニ處分スルコト云フ方法デアリマス

○平山午介君 第二十五條ニ「之ヲ差出人ニ還付スル場合亦同シ」ト云フコトガ追加セラレ、ヤウニナッテ居リマスガ、在來トモ無論相當ニ斯ウ云フ郵便物ハアツタラウト考ヘマスガ、從來ハドウ云フ取扱ニナッテ居タノデアリマセウカ

○政府委員(田中次郎君) 料金不足ノ場合トカ、サウ云フ場合ニ之ヲ差出人ニ還付スル場合ニハ、二倍ノ料金ヲ取ルコトニシテ居ルノハ手數ガ二倍ガ、ルカラサウナッテ居リマスガ、將來トモ受取不能トカ、其他配達不能ト云フヤウナ理由デ還付スル場合ガアリマスレバ、是モ同ジク第二十五條ノ精神ハ包含シテ居ルモノト解釋シテ居リマスカラ、ヤハリ二倍ノ料金ヲ取ッテ居リマス、是ハ彙ニ概括的ニ御話シタヤウナコトノ一例ニ當ル譯デアリマス、ヤハリ疑ノナイヤウニ明記シテ二倍ノ料金ヲ徴收スルノガ穩當ト考ヘマス

○平山午介君 ドウモ前ニハ取レヌヤウニ書イテアリマスナ「受取人ハ其二倍ノ料金ヲ納付シテ受取ルコトヲ得納付ヲ拒ム時ハ」云々トアル、要スルニ此場合ハ徴收スベキノデハナイケレドモ、料金ノ支拂ヲ求ムルト云フヤウナ形ト見テ置イテ宜シイ譯デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 受取人ハ二倍ノ料金ヲ納付シテ受取ルコトヲ得ト云フ御話ノヤウデアリマスガ、之ヲ拒シタル場合ニハ差出人ニ還付シマスノデ、手數ガ更ニ倍カカル爲ニ取ルト云フコトニナッテ居リマス、受取人不明ノ場合其他ノ場合デ——納付シナイデ返ス場合デナク、受取人不明ノ爲ニ返スト云フコトモアリマスカラ、サウ云フ場合モ入ッテ居ルダラウト實ハ考ヘテ居リマスガ、其點ガ法文ノ上カラ能ク闡明シテ居ナイヤウニ思ヒマスノデ、其精神ヲ明カニシタイト考ヘタノデアリマス

○平山午介君 尙是ハ受取人ガ拒シタル時ハ、成程二倍ヲ徴收スルト云フコトハ聞エルコトデアリマスガ、分ラナイ場合ニ之ヲ返ス場合モ、尙且二倍ヲ取ルト云フノハ、ドウ云フコトカラ出テ居ルノデアリマスガ、普通ノ郵便物ヲ出シタガ返ッテ來ルカラ一ツニナルノデアアル、其場合ニ取ル、然ルニ此場合ニ於テハ斯ノ如キ法文ヲ設ケテ置クノ必要ハナイ、現行法ニ於テハ拒シタル時ニハ二倍取ルト云フコトハ、是ハ勿論宜シイガ拒マナイ場合即チ分ラナイ場合デモ尙二度アルカラ二倍取ラナケレバナラヌト云フコトハ、普通ノ郵便料金ノ取り方精神ガ稍違フヤウニ考ヘマス

○遞信書記官田邊治通君 私カラ申上ケマスガ、實ハ郵便物ニ不足ガアリマス場合ニハ不足金デケ徴收スル、例ヘバ三錢ヲ貼ルベキ時ニ二錢ヨリ貼ラナカッタ時ニハ、受取人又ハ差出人ヨリ一錢ヲ取ルガ、其一錢ノ二倍ヲ取ルト云フコトハ隨分外國ノ例デモ罰金ノ意味デ取ルカ、手數料ノ意味デ幾分行政處分ノ意味ヲ以テ取ルカト云フコトハ隨分議論ガアリマスガ、要スルニ現行法デハ不足ノ場合デ二倍ヲ取ルノデアリマスガ、此不足ノ二倍ヲ取ルト云フコトハ受取人カラ是非取ルト云フコトハ出來ナイ、取ルニハ無論差出人カラ取ルガ原則デアリマスガ、但シ受取人ガ二倍拂フカラ渡シテ行ケト云フコトデアルナラバ、二倍貫ッテ渡シマスガ、受取人ニ義務ヲ負ハスト云フコトハ具合ガ惡イノデ、受取人ガ二倍拂ッタル渡シテモ宜イト云フノデ、原則トシテハ差出人ガ過失ガアツタト云フ意味デ、差出人カラ二倍取ルト云フコトハ、勿論法文トシテハ宜イノデアリマスガ、折角手紙ガ來タ場合ニ、二倍出スカラ置イテ行ケト云フニ、ソレデモモイカヌト云フノハ不便デアル、ソレガ受取人ガ不明デ、留置期間ガ満了シテ、差出人ニ返スト云フ場合ニハ差出人カラ取ルト云フノガ現行法ノ目的デアルノデアリマス、拒シタル二倍取ルノガ宜イト云フノデナクシテ、受取人ガ二倍出シタルバ渡シテモ宜イ、手紙ガ來タガ二倍出シテモ受取人ガ受取レヌト云フノハ残念デアルカラト云フノデ、議論カラ言ヘバ拒シタルノデアリマシテモ、又受取人ガ不明デ渡スコトガ出來ナイ場合デモ、要スルニ差出人ノ方ノ意思ニ於テ缺點ガアツタト云フノデ差出人カラ二倍ヲ取ル、斯ウ云フ風ニ實ハ思ヒマスノデアリマスガ

○平山午介君 能ク分リマシタ、第二十八條ニ今度ハ大分コ、二年金恩給支給國庫金受拂又ハ收入印紙賣捌ト云フヤウナ事務ニ關スルモノハ無料トスル、之ニ付テ當局ノ御見込ヲ伺ヒタイノハ、斯様ナモノヲ無料郵便ニ認メルト云フコトノ結果、年金恩給國庫金受拂印紙賣捌、斯ウ云フヤウナモノニ對シドレダケ増スト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) チョット未ダ其見込數ヲ調べタモノヲ手許ニ持ッテ居リマセヌカラ、後デ分リマシタラ……

○平山午介君 後デ結構デス、ソレヲ承リタイト云フノハ次ニ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノ

デ、斯ウ云フ風ニ無料郵便ト云フモノノ種類が増スニ從ツテ、此無料郵便ノ通數ト云フモノガ所謂無慮何十万ト云フモノニ達スルデアラウト思フ、從ツテ郵便事業ガ此經費ヲ負擔スル分量ト云フモノガ餘程多額ニナルデアラウト思フ、此場合ニ於テ遞信省ハ無料郵便物ノ爲ニ非常ニ郵便物數ヲ増加セシムルト云フコトニナリマスレバ、從ツテ經費ニ不足ヲ生ジテ來ルト云フコトハ免レナイコトデアルト思フ、斯様ナモノハ一體ドウ云フ風ニシテ收入トシテ、ドレダケノモノヲ見テ、サウシテドウ云フ風ナ具合ニ收入ヲ取テ行ツテ、豫算ノ締括リヲ付ケヤウトスルデアリマス、ソレ等ニ付テ御取扱ノ關係一ツ伺ツテ置キタイ

○政府委員(田中次郎君) 三年度ノ無料郵便物ノ數ヲ調べマシタコロニ依リマスルト云フト、約七十万アルデアリマス、其中ニ今御話ノ無線電信無線電話ト云フヤウナ側ニ屬スル無料郵便ガドノ位アルデアラウト云フコトハ、追テ調べマシテ御答シマスガ、大體今ノヤウナ數デ經費ハ無料郵便ニ屬シマスルノハ今ドノ位ニナツテ居ルカト云フコトハ、チヨット調べタノガアリマセヌガ從來豫算ヲ要求シマス際ニ、有料物數並ニ無料物數ヲ總括シマシテ、ソレヲ前三年ノ平均累進スル狀態ニ照シテ、ソレヲ基礎トシテ收支ノ經費ノ豫算ヲスルデアリマス、三年度ノ豫算モソレ等カラ割出シタノデ要求シテ居リマスガ、無料ニ付テハドレダケノ經費、有料ニ付テハドレダケノ經費ト云フ要求ハ實ハ致シマセヌ、一括シテ物數ヲ基礎トシテ、前三年度ノ平均増加ガアリマスカラ、ソレカラ割出シテ要求シテ居ルカラ、自然無料物數ニ對シテモ相當ノ經費ハ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマス、コノ是等ノモノガ増加シテ行キマスレバ、是ガ増加ノ結果ニ基イテ來年度ノ經費ヲ積リマシテ、ソレヲ基礎トシテ事業收支ノ方デ經費ヲ要求スルト云フコトニナルデアリマス

○平山午介君 サウシマスルト云フト、要スルニ此無料郵便物ガ増シテモヤハリソレハ在來ノ經費——在來ト云フト可笑シイガ、事業増進ノ中ニ之ヲ加ヘルコトニナレバ、自ラ其經費ヲ要求セラレルト云フ意味ニナルト考ヘテ宜シイノデスナ

○政府委員(田中次郎君) サウデス

○平山午介君 ソレカラ斯ウ云フコトヲ一ツ承ツテ置キタイ、此際斯ウ云フ御改正ガアツテ、無料郵便ノ範圍ニ付テ何カ手ヲ加ヘラレ——即チ自ラ無料ト認ムルモノ、範圍ニ寛嚴ノ手ヲ加ヘラレト云フヤウナコトハナイデアリマセウカ、又實際今日二十ハ條ニ列記セラレタル所ノ各事業ガ、有料トシテ扱フモノハドウ云フモノデアリマセウカ、ソレヲ承ツテ置キタイ

○政府委員(田中次郎君) 御話ノ此處ニ追加シマシタ中、無線電信無線電話ト云フノハ、從來ノ法律デハ電信電話ノ中ニ入ツテ居リマス、新タニ本當ニ加ヘマシタノハ恩給年金、國庫金、收入印紙ノ事務ト云フコトニナツテ居リマスガ、此種類ニシマシテモドウ云フモノガドウ云フ取扱フベキモノデアルカト云フコトハ、自ラ命令デソレ等ノ點ハ極メル積リテゴザイマスガ、大體恩給年金乃至國庫金ノ受拂ノ取扱ノ書類等ハ、多クハ爲替乃至貯金等ノ書類ト一括シテ監督局ニ行キ、監督局ヨリ貯金局ニ行クト云フコトニナラウト思ヒマスノデ、實質上ニ於テハ多少量目ハ殖エマセウガ、通數ノ上ニ於テハ格別増スコトハナカラウト思ヒマス、收入印紙ノ賣捌ニ關シマシテモ、多クハ切手類ノ買受配

給ト同時ニ行ハレテ居リマスカラ、是モ物數ノ上ニ於テハ増スコトハ殆ドアルマイト思ヒマスガ、唯量目ニ於テ多少増スヤウニナラウト思ヒマス、ソレ等ノ取扱ノ範圍等ニ付テハ、詳細ハ省令乃至取扱規定ニ依ツテ大體極メル積リデアリマス、今此外ニドウ云フヤウナ有料ノモノヲ扱ツテ居ルカト云フコトハ、有料デヤツテ居ルノハ大概ノヤツハ郵便乃至爲替貯金電信電話等ノ事務ノ方ニ包括セラレマス、殊ニ郵便ト云フ文字ハ大分廣イ意味ニナツテ居リマスカラ、有料デヤツテ居ルノハ極メ稀アラウト思ヒマス

○平山午介君 第三十八條賠償ノ期限ヲ短縮セラレルト云フコトデスガ、此賠償請求ナリ賠償ヲシタモノハドレ位數ガアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 茲ニ數年ノヤツガアリマスガ、賠償個數デ言ヒマスト正三年度ニハ四百七十、二年度ニハ三百八十八、元年度ニハ二百〇四、賠償金額ニシマシテ三年度ハ四千四百七十圓、二年度ガ千九百八十八圓元年度ガ千六百六十六圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、殊ニ三年度ニ多クナリマシタノハ、汽船ガ沈没シタトカ、或ハ局舎ガ燒ケマシタ等ノ特別ノ事由デ書留ナドガ燒ケマシタノデ、是ダケ多クナツテ居リマス

○平山午介君 無論一年後ニ要求シタモノハナイノデスカ

○政府委員(田中次郎君) サウデス、大概其内ニ請求ガアリマス

○平山午介君 第四十二條デチヨット承リタイノハ、遲延ニ對スル責任ヲ之ニ負擔セシメナイト云フノハ、ドウモワカシイト思フ、私共能ク旅行シテ汽船ナドニ乗ツテ見テ居ツテモ、隨分不都合ナコトヲシテ居ル場合ガアルガ、船舶郵便法ヲ見ルト、何カ臨時ニ何處カニ陸揚スル關係ニ付テノ規定ハアルガ、正當ノ所ニ着イタ時ニ遲ラカシテモ何等責任ガナイト云フコトニ此法文カラ言フト見エル、一體此郵便法ノ五十三條カラ見ルト、遲延セシメタ場合ニハ刑罰ニ處スルト云フコトニモ規定サレテ居リマス、此場合ハソマリ郵便ノ取扱ノ事務ニ準ズルモノデアルカラ、其郵便局一局ガ配達スルモノニ限ル譯デアルガ、運送業者ノヤル場合ニハ是ハサウデナイ、全國ニ亘ル多量多數ノモノト見ナケレバナラス、其場合ニ於テ法律上ノ責任ヲ負ハセテ置カヌト云フコトハ、ドウモ法ノ上ノ缺陷ノヤウニ思ハレル、當局者ノ御考ハドウデアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 四十二條ニ「拒ミ又ハ其運送ヲナササル者ハ三云々トアリマスガ、其外ニ尙ホ遲延セシメタ者モ罰スル必要ガアラウト云フ御話デスガ御尤デゴザイマスガ、遲延ヲ態々セシムルト云フヤウナノハ隨分情狀ニ於テ重イ罪デゴザイマスガ、大概運送ニ付キマシテハ契約ヲシテ居リマシテ、其契約ニ基キマシテ遲延セシメタヤウナ場合ニハ重イ違約金ヲ取ツテ居リマス、刑罰トシテハヤツテ居リマセヌガ、行政上ノ違約金トシテ大分取ツテ居リマスニ其方デ相當目的ハ今マデ達シテ居リマスカラ——尤モ寧ろ餘リ遲ラシ過ギルト云フコトニナルト、拒ンダコトニモ解釋出來ハセヌカト思フ

○平山午介君 ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ——ソレカラ四十八條デチヨット承ツテ置キタイ四十八條ノ場合ハ偽造變造若クハ痕跡ヲ除去シタルモノト云フコトニナツテ居リマスガ、是レ以上——ツマリ押印洩レノ場合、切手ノ押印ヲ洩ラシタヤウナ場合デモ、ヤハリ不正ノ利益ヲ獲得スルモノデアツテ殊ニ惡意ノ甚シキモノデアル、斯ウ云フ場合ニハ何處デ罰セラレルト云フコトニナリマセウカ、又葉書ノ如キ證票ニハ何等ノ異狀ノナイ——

即ち押印洩レノ場合ノ如キ、墨デ書イタ奴ヲ朱デ書キ直ホシテ出スト云フヤウナ場合ハ、
ドノ處分デ罰スルコトニナリマス、其關係ガ明カデナイヤウニ考ヘル

○政府委員(田中次郎君) 唯今御話ノ葉書ノ切手面ニハ何等汚損ハナシ、其
外ノ宛名トカ或ハ文面ノ所ヲ洗滌シタヤウナ場合ニ、此處分ニハ當ラヌヤウニモ見エマス
ケレドモ、葉書ト云フモノハヤハリ切手面バカリデナク、一印面バカリデナク、其全體其モ
ノガヤハリ葉書トシテ一ノ證票ニナツテ居ルノデアリマス、其宛名洗滌シタモノトカ、或
ハ文面ノ所ヲ洗滌シ正ナ葉書ニ紛フヤウナ形ニナスト云フコトハ、無論四十八條ノ「使
用ノ痕跡ヲ除去シ」ト云フ中ニ這入ル積リニ考テ居リマス、切手押印洩ヲ再ビ使ッテ來
ルヤウナ場合ニハ、四十七條ノ「不法ニ郵便ニ關スル料金を免レ」ト云フ方ノ條文ニ該
當スル積リデ考ヘテ居リマス

○平山午介君 五十三條ニ「郵便事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ郵便物ノ取
扱ヲ爲サヌ又ハ之ヲ遲延セシメタルトキハ」云々ト云フコトガアリマス、是ハ一體怠惰ト
故意ト一ツ此場合ニハ生ジテ來ルト思ヒマス、無論此場合ハ故意ノモノデケテ御罰シ
ニナルト云フ御見込デアリマセウカ

○政府委員(田中次郎君) 五十三條ノ第一項ハ何レモ總テ取扱フセヌ考ガアリ遲
延セシメル考ガアツタル場合ヲ舉ゲマシタノデ、偶然ノ過失デサウ云フコトニナリマシタノ
ハ、此第一項ニハ入レテ居ナイ考デゴザイマス

○平山午介君 過失ハ免ニ角、怠惰ハ如何デス

○政府委員(田中次郎君) 怠惰ト云フノハヤハリ過失デハアリマセヌカ

○平山午介君 早クヤラナクテハナラヌト云フコトヲ知ツテ居ッテヤルノデスナ

○政府委員(田中次郎君) ソレハヤハリ故意デラウト思ヒマス

○平山午介君 私ハ郵便法ニ付テハソレデケデス

○今井喜八君 他ニモイロ／＼御質問ガアラウト思ヒマス、私ハ極ク簡單ニ一二
御質問シタイト思ヒマス、ソレハ第二條ノ「何人ト雖モ信書ノ送達ヲ營業ト爲スコトヲ
得ス」是ガ即チ獨專的ノ法律デ、明治初年度ニ制定セラレテ、ソレガ今日マデ繼續サレ
テ居ル、トコロガ遞信事業ハ段々發達シテ頗ル行届イテ、ツマリ送達事業ヲヤッテ居ル譯
デスカラ、今日ノ程度カラ行ケバ、最早民業ニ幾分許シテモ却テ便利デ宜クハナイカト
本員ナドハ考ヘテ居ル、然ルニモ拘ラズ此條項ヲ削除スルドコロカ、却テ二條ニ對シテ苛
酷ノ法律ノ改正ヲ求メラレト云フノハドウ云フ政府ハ御考デアリマス

○政府委員(田中次郎君) 第二條ハ御話ノヤウニ是ハ古イ沿革カラスウ云フコトニ
ナツテ居リマシテ、今日ト雖モ此信書ノ送達ハ政府ガ國家專掌デヤルノガ穩當デアラウト
信ジテ居リマス、段々交通機關ガ發達シ、人文ガ發達スルニ連レテ、一部民業ヲヤルガ
宜クハナイカト云フ御話デアリマス、信書ノ送達ハ信書ノ秘密ニ非常關聯モ有ツテ
居リマス、信書ノ送達ト云フコトハ出來得ルタケ統一シタル業務デ行ハナケレバ、完全
ナル事務ノ遂行モ出來ズ、極メテ正確ニ之ヲ取扱フ爲ニモ、ドウシテモ統一シタル事業
デナクテハ出來ヌ、ソレ等ノ關係カラ、何レノ發達シタル國ト雖モ、信書ノ送達ハ國家ノ
專掌デヤラヌ國ハナイノデ、外國ノ例ヲ見マシテモ、御話ノヤウニ民業デヤッタ國モアリマ
シタガ、國ガ專掌デヤルガ一番宜イト云フコトニナリマシテ、近來殆ド確定の二各國共斯

ウ云フ方法デヤツテ居リマス、日本モ同ジ精神カラ割出サレテ、今日ト雖モ其精神ハ
ヤハリ必要ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、隨ツテ之ニ關スル違反行爲ヲスレバ、近來益
違反行爲ヲ犯シ易クモナルシ、其結果犯罪ノ惡影響モ重大デアル爲ニ、刑法其他ノ刑
罰等ヲ參酌シマシテ、少シ刑ヲ上ゲマシタノデアリマス

○今井喜八君 此信書ト云フ意味ガ、ツマリ親展ト書イタルノヲ信書トスルカ、或ハ
廣告的ノ無封ノ二錢ノ郵便、アレモヤハリ信書ト云フノデアルカ、此點モ伺ヒ置キタイ、
或ハ區内デ百軒バカリノ廣告ヲ配ラナケレバナラヌ場合ニ、ソレヲ信書ニシテ封シテ出ス
ト二錢デ、取ラレルカラ、出入ノ車夫モ雇入レテヤレバ一圓デ濟ムカラ之ニ配ラセヤウ
ト云フノデ、一圓ノ日當ヲ取ツテ車屋ガ配ツタト云フヤウナ場合ニモ、此犯罪ニ當嵌ルカ
ト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(田中次郎君) 信書ト云フ意義ハ此法バカリデナク外ニモ段々アリマス
ガ、郵便法ニ於キマシテハ特定ノ人ヨリ特定ノ人ニ宛テタル所謂通信文デアルト解決シ
テ居リマス、端書モ無論入リマス、書狀ハ勿論デアリマス、書狀ノ中デ必シモ親展ト
書イタモノデアルトカ書イデナイモノデトカ云フコトハ問フテ居リマセヌ、又例ヘバ一日人ヲ
雇テ廣告類ノ物ヲ袋ニ入レテ持タシテヤッタ場合、違反ニナルカト云フコトハ、ソレハ
無論信書ノ送達ヲ營業ト爲シテ居ルノデハナイト思ヒマス、或ハ葬式ノ遺リ物ヲ持タシ
テヤルトカ、或ハ婚禮ノ遺リ物ヲ近所隣ヘ持タシテヤルトカ云フコトハ何等擇ブトコロハナイ
ノデ、是ハ主トシテ送達ヲ繼續的營業事業トシテヤルノヲ禁ズル精神ニナツテ居リマス

○今井喜八君 尙御確メ致シテ置キマス、選舉デモ始マルト、隨分東京市內何万ト
云フ人ニ配ルコトガアル、ソレヲ人ヲ雇ッテヤルノニ、之ヲ營業ニシテヤルト、政府ノ仕事
ノ妨害ニナツテ罰セラレト云フノデ、一々其人ノ印胖天ヲ著テ、其人ノ雇人ノ如クニシ
テ心ヲ勞シテ配ツタト云フコトモアツタガ、ソレハ始終ヤラナイカラソレハ商賣ト認メナイ、一
日カ二日雇ハレテシタノデアレバ別ニ罰セヌト云フ御考デアリマス

○政府委員(田中次郎君) 選舉カ何カノ際ニ推薦狀カ何カヲ自分ノ方デ持タシテヤ
ルノハ差支ナイト思ヒマス、ソレヲ甲乙丙丁、誰デモ引受ケテ私ハ送達ノ營業ヲヤリマス
ト云フノハ、送達スルコトヲ一ツノ營業トシテ居ルノデスカラ罰スルコト云フノデス

○今井喜八君 其事ハ確メテ記録ニ載セテ置カナイト、將來隨分迷惑スルコトガ出
來ルト思フ、ソレカラモウ一ツ御尋シタイノハ、四十八條ノツマリ郵便ヲ洗ッテ再ビ使ツタ
トカ、郵便切手ヲ洗ッテ之ヲ再ビ行使シタトカ云フ、是ハ印紙法ノ方デ印紙ヲ再用シタ
ト云フ法律ハドウ云フ例ニナツテ居リマス

○政府委員(田中次郎君) 此郵便法ニモ丁度四十九條ニ唯今御話ノ「帝國政府
及郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ヲ再
ビ使用シタル者ハ」云々は今日マデ行ハレテ居ル所謂切手再貼用ト云フノデス、之
ヲ削除シマシテ四十七條ノ料金を不法ニ免レト云フ方ノ側ノ條文デ實ハ足レリト考ヘ
テ居リマス、唯今御話ノ再貼用ノ事例ハ郵便法ノ方カラ行キマス、削リマシテ、四十七
條ノ適用デ行ケルト思ヒマス、今ノ印紙ノ處罰ノ方ハ何レモ調ベマシテ申上ゲマス、ソレ
カラ此處ニ端書ヲ洗用シタ實例ガアリマス、隨分澤山アリマスガ二三枚持テ來マシタカ
ラ御覽ニ入レマス、隨分好ク出來テ居リマス

○今井喜八君 怪シカラヌ所爲ニハ違ヒアリマセヌガ、十年ト云フノハチト多過ギハ致シマセヌカ

○政府委員(田中次郎君) チョット御答申上ゲマスガ、外ノ郵便貯金其他郵便印紙ノ取締ト云フ側ヲ參酌シテ、ヤハリ是ト同ク之ハ十年以下テ情狀ノ極ク輕イ者ハ極下マテ行ケルヤウニ下ハ書イテアリマセヌ、ソレハ裁判官ノ量定ニ任セテアリマス——印紙犯罪處罰法ハ四十二年ニ出來テ居リマスガ、其第一條「行使ノ目的ヲ以テ帝國政府ノ發行スル印紙又ハ印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス行使ノ目的ヲ以テ印紙ノ消印ヲ除去シタル者亦同シ」第二條「偽造變造ノ印紙、印紙金額ヲ表彰スヘキ印章若クハ消印ヲ除去シタル印紙ヲ使用シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ輸入シ若クハ移入シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ」ソレカラ有價證券偽造ノ罪ハ刑法第六十二條「行使ノ目的ヲ以テ公債證書、官府ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス」行使ノ目的ヲ以テ有價證券ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタル者亦同シ」是等ヲ參酌シテ定メマシタ

○委員長(田中省三君) 次ニ御質問ノ方ハゴザイマセヌカ

○平山午介君 私ハ電信法ニ付テ御尋致シタイ、第二十二條ノ御改正、之ハ郵便法ノ御改正ニ比較スルト郵便法ノ方デハ恩給年金ニ關スルモノ、國庫取扱ニ關スルモノ、郵便印紙賣捌ニ關スルモノ、是等ハ無料トスルコトニナッテ居リマスガ、電信法ハ無料ニセヌト云フコトニナッテ居リマスガ、之ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(田中次郎君) 二十二條ノ無料ノ範圍ノ御尋ハ御尤デゴザイマスガ、電信ハ御承知ノ通り線條ノ設備、機械ノ設備等隨分金ガ郵便ヨリ多ク掛ルノデ、電信電話ノ利用ト云フコトニハ餘程細カニ注意ヲ拂テ居リマスガ、段々物ガ殖ヘテ來テ、十分架設ガ出來ナイ關係カラ割ニ幅轆致シマス、ソコデ此電信電話ヲ無料デ使フト云フコトニ付テ、成ベク制限ヲ加ヘタイ考ヲ以テ此ニ已ムヲ得ズ入レマシタ、無線電信無線電話ハ從來電信電話ニ包含シテ居ッタノデアリマスガ、今度無線電信無線電話ノ發達ノ關係カラ入レネバナラヌヤウナコトデアリマス、ソレカラ年金國庫金支拂等ニ付テハ電報ヲ使フ方ガ事務上ニハ利益デアリマスカラ電信ヲ掛ケヌデモ大シタ不便ハナイコトニ考ヘテ居リマス、國庫金ナリ年金支給等ノ支拂ハ、何レモ郵便爲替郵便貯金ニ關係シテ居リマスカラ、其方デ取扱フト云フ考デ、成ベク電信電話ノ無料ヲ除キタイ考ヘカラ制限致シマシタ

○平山午介君 御説明ハ至極御尤デスガ、國民カラ考ヘ、又利用關係カラ考ヘルト、苟クモ通信省ガ一ツノ業務トシテ實行スル以上ハ、其業務ニ對シテ取締ヲ二三ニスル理由ノ毫モナイコトハ申スマデモナイ、恩給年金ヲ貰フ人間ノ如キハ、何レモ國家ニ相當ナ功勞ガアッテソレガ爲メニ支給サレル人デアアル、又郵便印紙ノ如キデモ、收入印紙ガ急ニ切レテナカッタト云フヤウナコトハ一般公衆ガ迷惑ヲ起ス、此ノ如キ場合ニハ當然使フコトヲ御許シニナルノガ適當デハナイカト考ヘマス、同一業務ノ中ニ於テ此ノ如ク或モノニ重キヲ置キ、或モノニ輕イト云フコトハ……例ヘバ電信電話ノ如キ事業ノ急速ヲ要スルモノ

ノハ、性質ガ違ッテ居テモ、其事實ハ敢テ性質ノ上カラ輕重ノ差ガアル程ノコトハナイト思ヒマス、之ハ入レルコトニハ出來ヌモノデアリマセウカ

○政府委員(田中次郎君) 御尤デアリマス、年金恩給ヲ支給サル、ヤウナ者ハ何レモ國家ニ功勞アル御方デ、其支拂ニ對シテ遲延ヲ來サユナコトハ甚ダ面白クナイ譯デアリマスガ、郵便爲替ニシテモ郵便貯金ニシテモ、之ヲ電報支拂フト云フ場合ハ、隨分是等ハ日常ノ問題デ、從來モ國庫金乃至年金等ノ急速ヲ要スル場合ハ、相當ノ期間ニ於テ支拂時日モ豫定シテ居ルコトデゴザイマスカラ、利用シテ居ッタデアリマス、即チ爲替ナリ郵便貯金等ノ關係カラ來ルモノデアリマスカラ、其方ガ宜イト思ヒマス、無料電信ニ付テハ必ズシモ輕重ヲ置イタ意味デハアリマセヌガ、出來ルガ收入率ヲ高クシテ置キタイト云フ考カラ來テ居リマスノデ、事實國庫金ノ支拂或ハ年金支給等ニ付テモ、電信爲替ト云フヤウナ性質ヲ帶ルヤウナ時代モ來ヤウト考ヘマスカラ、其場合ヲ更ニ考慮ヲ致シタイト思ヒマス

○平山午介君 私ハ此場合貴族院モ通過シテ居ルコトデアリマスガ、ドウカ是等モ一ツ御加ヘ下サルコトニ付テ十分御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、殊ニ唯今ノ御説明ニ依レバ極クソレハ少クナイト云フコトデアリマス、少ナイト云フコトナラバ、尙更ニハ御入レ置キヲ願ッタ方ガ國家ガ功勞アル人ヲ待ツト云フヤウナ點モアルシ、又收入印紙其他ハ實際商取引其他ニ就テ重大ナル關係ガアルモノデアリマスカラ、是ハ是非將來御考慮ヲ仰ギタイト思ヒマス

○委員長(田中次郎君) 承知致シマシタ

○平山午介君 ソレカラ第三十一條デアリマスガ、三十一條ニ「電信官署又ハ電話官署ノ取扱中ニ係ル通信ノ秘密ヲ侵シタル者ハ」云々ト云フコトニナッテ居リマスガ、此電信官署ト云フ中ニハ私設ノ鐵道ノ停車場等デ電信ノ取扱ヤッテ居ル所モアリマス、或ハ電話ニ依テ之レヲヤッテ居ル所モアルヤウデアリマス、ア、云フ私設ノ建物デ私設ノ會社ノ私設ノ使用人ニヤラスル場合モ、ヤハリ之レヲ官署ト認メルト云フコトハ特別ノ法令其他ガアルノデアリマセウカ、又ア、云フモノハ含マナイト云フノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイ

○政府委員(田中次郎君) 本法ノ第四十三條ニ斯ウ云フコトガ書イデアリマス、公衆通信又ハ第三條第一項ニ依リ現ニ軍事通信ノ用ニ供スル私設ノ電信又ハ電話ニ關シテハ第九條ヲ除クノ外本法中政府ノ施設ニ係ル電信又ハ電話ニ關スル規定ヲ準用ス」此方カラ參リマシテモ、無論ソレ等ノ者雖モ電信官署ト見ルコトガ出來得ルノデアリマスガ、又從來ノ慣例ト致シマシテモ電信官署ト見テ居リマス

○平山午介君 ソレ等ノモノ、取扱ヲナシタ使用人ガ取扱ヲシタコトニ就テハ、ヤハリ本法ニ於テ通信官署ノ從事員ト云フモノヲ罰スル規定ガアリマスガ、ソレトヤハリ同ジ程度ニ於テ罰セラル、ノデアリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 左様デゴザイマス

○平山午介君 ソレカラ第三十三條ノ方ヲ伺ヒタイト思ヒマス「此賜金又ハ他人ニ利益ヲ與ヘ又ハ他人ニ損害ヲ與フル目的ヲ以テ云々」ト云フモノガアリマスガ、是ハ今回ハナカク重ク御解釋ニナッテ居ルヤウニ見エマスガ、一體是ハ斯ウ云フ事ガ一年ニドレ位

アルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 茲ニ大正二年三年ニ互リマシタ統計ニ就テ見マスルト、電報ノ偽造トシマシテハ約二十四件アリマス、其中テ從事員ガヤリマシタノガ十件、其他ハ從事員以下ノ人ガヤリマシタ

○平山午介君 ヲレハ爲替電報アリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 重ニ爲替電報ノヤウデアリマス、多クハ爲替ヲ詐取シヤウト云フ方ノ考カラ來テ居ルヤウデアリマス

○平山午介君 ヲレカラ承ッテ置キタイノハ、電信爲替ニ要スルダケヲ特ニ重クシマシタノハドウ云フ譯デアリカ、是ハ電信爲替ハカリデハナイ、隨分賜金ノ方ノ偽造トカ云フモノモアルダラウト思フ、特ニ電信爲替ト云フコトバカリニ重キヲ置カレタト云フノハドウ云フ譯デアリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 電信爲替ニ特ニ重ク致シマシタノハ、御承知ノ通り隨分此爲メニ生ズル財産上ノ損害モ夥シイシ、又延イテ影響スル所ガ大ナリト見マシタノデ、情狀ガ一段重イモノト認メタノデアリマス、ソレデ重クシタ次第デアリマス、賜金其他ニ就テノ爲替等ノ事柄ハ、電報ト同ジコト、解釋シテ居リマス

○平山午介君 賜金ヲ請求スル電報ヲ偽造シテ金ヲ取ルナド、云フコトハ、往年ハ時時アッタヤウデアリマスガ、ドウモアレハ電信爲替ト云フ譯ニ往カヌダラウト思ヒマス、寧ロアア云フノハ金モ非常ニ多ク取リマスシ、情狀ガ餘程重イト思ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 實ハ此未項ノ第三項「電信事務ニ從事スル者云々」ト云フノヲ削除致シマシテ、七年以下若クハ此處ニアリマス五年以下、又ハ千圓以下ノ罰金、斯ウ云フコトニ致シマシタガ、是ハ無線電信ナリ其他ノ刑法上ノ刑ト權衡ヲ得ルヤウニト思フデアリマシタガ、七年以下ト云フノハ隨分重イ刑ニナルノデアリマシテ、實ハ通信從事員ノ場合ニ於テモウ一段上ルト十年以下ト云フコトニナリマスガ、先ヅ從事員ト雖モ七年以下ニ處スレバ十分懲罰ノ目的ヲ達スルト云フ考デアッタノデアリマス、從ッテ電信爲替ノ方ハ賜金等ニ關スルヤツモ是ハ包含スル方ガ穩當デナカラウカト考ヘマス

○平山午介君 包含ヲヒシムレバ私ハ何等異議ハアリマセヌケレドモ、電信爲替ニ要スベキ電報トシテアリマスガ、賜金ノ如キハ電信爲替ト云フ譯デアナイノデスカラ、要求ヲ電報デスルダケテ現金ヲ送ルノデスカラ、ドウモ是ハムツカシイヤウニ思ヒマスガ

○遞信書記官田邊治通君 私カラ申上ゲマスガ、御説ノ通り賜金ヲ送ッテ寄越セト云フ電報ダケニ見レバ、電信爲替ニハ入リマスイト思ヒマスガ、電信爲替デ送ルト云フ形式ヲ取ツタ場合ハ入ッテ來マス、即チ實行ノ方デ行クヨリ仕方ガアルマイト思ヒマス

○平山午介君 サウスルト之ニ等差ヲ設ケテ理由ハドウデスカ

○遞信書記官田邊治通君 實ハ此改正ハ現行法ヲ餘程尊重シタ譯デアリマスガ、電信爲替ガ特ニ重クテ今ノ賜金ノヤウナモノヲ詐取スル電報ヲ打ツ者ガ輕イト云フコトデアリマス、御尤デアリマスガ、併シ其内容カラ行キマシテ、其電信ニ依テ生ジタル損害ノ内容ノ大小カラ行キマス、勿論賜金ヨリモドンナムツカシイ電報ヲ打ツカ知レマセヌガ、例ヘハ國家ノ非常ナ損害ヲ被ルヤウナ電報デハ、ヤハリ第一項デ罰スルヨリ仕方ガナイノデ、從ッテ結果ノ大小カラ行キマシタラ、勿論電信爲替ト差別ハアリマセヌケレドモ、併

シ等シク唯電報ノ偽造ニ使ツタト云フコトカラ申シマスレバ、一項ニ入ルノデ、尙ホ特ニ電信爲替ヲ重クシマシタト云フノハ、ツマリ銀行業的二金錢ノ授受ヲ遞信省デヤッテ居ル、其電信ガ當ニナラヌ、嘘ノモノデ、サウシテ其爲ニ公衆ガ損害ヲ受ケタト云フコトガアッテハ甚ダ相濟マヌト云フノデ、實ハ電信爲替ノ方ハ重ク罰スル、其他ノモノハ電報ニ依テドウ云フ結果ガ生ジマシテモ、等シク唯通常電報ノ偽造デアルト云フコトデ、現行法モ出來タコトト信ジテ居リマスガ、尙ホ其精神ヲ貫イテ改正シタノデアラウ、斯ウ思ヒマス

○平山午介君 能ク解リマシタ、私ハモウ質問ゴザイマセヌ

○山田正年君 チョット最後ニ承ッテ置キマス、先程今井君ノ御質問ニ依ッテ稍々明瞭シマシタガ、信書ト送狀ト添狀ト云フニツツ簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○遞信書記官田邊治通君 信書ノ定義ハヤカマシイヤウデアリマスガ、先程政府委員カラ申シマシタ通り、信書ト云ヒマスト文書モ其一種ニ相違ナイガ、其中別ニ特定人カラ或ル特定人ニ宛テタ所ノ通信文ト解釋シテ居リマスガ、送狀ト云ヒマスト某ナル品物ヲ御送り申スト云フヤウナモノ、是モ無論通信ニ相違ナイガ、郵便法第二條ニ明記シテアルト思ッテ居リマスガ、斯ウ云フモノノ送狀ノ開封デアルモノダケハ宜シイ、勿論信書デアルガ、其信書ノ中デ特ニ或物ヲ送ルト云フ送狀、ソレカラ添狀、此藥ハ斯ウ云フ風ニ用フト云フ説明書ノ如キモノハ其品物ト一緒ニ行カヌト不便デアル、ソレヲ利用シテ別ノ音信ヲアル譯ザナイカラ、其品物ヲ受取り其品物ヲ利用スルニ直接必要デアルカラ其モノダケハ許ス……

○山田正年君 解リマシタ

○委員長(田中省三君) 別ニ御質問ノ方モナイヤウデスカラ御質問ガ終ヘタト見マシテ、質問ハ是デ打切り、討議ニ移リマシテ、決シテ置キタイト思ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○委員長(田中省三君) 皆サン御異議ガナイト認メマシテ討議ニ移リマス

○室木彌次郎君 此四案共總改正ノ大體ニ於テ私ハ異論ハナイ、各箇條ニ就キマシテハ理想的ノ改正トハ存ジマセヌ、併ナガラ本案ハ貴族院ニ於テ可決ニナッテ居ルノデアリマスシ、ノミナラズ會期モ切迫シテ居ルノデアリマスガ、將來改正案ヲ運用ニ就テ當局ノ最善ノ御心配ヲ俟ツト云フコトヲ希望シマシテ、四案共原案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○今井喜八君 今室木君ノ述ベマシタ通り、如何ニモ會期ハ切迫シテ居リマスシ、貴族院デ可決送付サレタノデアアルカラ、是ハ聊カ修正ノ考モアリマスガ、修正說ヲ出シテ若シ通過スルト却ッテ煩ハシクナルカラ、總テ同意致スト同時ニ、此運用ニ就テ大ニ慮ッテ成ベク失態ノ少イヤウニ御注意ガアッテ、裁判等ニナッテモ、輕キニ依ッテ處分スルト云フ風ニ方針ヲ取ッテ頂クト云フ希望ヲ述ベテ贊成致シマス

○委員長(田中省三君) 皆サン此四案ニ對シテ御異議ナイヤウデスカラ、討議終結ト見テ可決致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時五分散會